

## 目次

■ <b>ロシア投資誘致活動の問題</b> .....	渡邊 光太郎 1
■ <b>統計速報</b> .....	6
2015年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2015年1～5月の日ロ貿易／7	
■ <b>モスクワほっとニュース</b> .....	8
ロシア語のむずかしさ～外国人の反応～／8	
■ <b>エトセラ</b> .....	10
月例報告会「ロシアビジネスにおける取引債権の保全」／10	
■ <b>トピックス</b> .....	10
東洋書店、事業を停止／10	
ロシア、欧米からの食料品輸入禁止を延長／11	
サタケがトルクメニスタンより精米用機器などを受注／11	

## ロシア投資誘致活動の問題

ロシアNIS経済研究所 研究員  
 渡邊 光太郎

### はじめに

ロシアに限ったことではないが、ロシアでも主に工場を誘致することを目指し、外資系企業の投資誘致活動が盛んに行われている。この活動は非常に熱心に行われてきたもので、実際に進出企業から投資環境を評価され、多くの進出企業を獲得した地域もある。地域によっては十分な成果を出してきた活動であることは確かである。一方で、ロシア側からの投資誘致の投げかけに対し、十分に魅力を感じられないという声を日本企業側から聞くことも少なくない。現在の経済情勢から、ロシア市場への見方に慎重な意見を持つ方が増えているのも確かであろうが、必ずしも経済情勢に関わらない要因があるのではないかと考える。今回はその内容について考察する。

### そもそもどうしてロシアに投資するか

当たり前の話であるが、日本企業にロシアに投資する義理や義務があるわけではない。ロシアに日本企業が投資する条件は、投資を回収し利益を得られるだけの収益が見込めることであり、この条件を欠く場合、投資はなされないし、むしろ、するべきではない。加えて、企業の資源は限られている